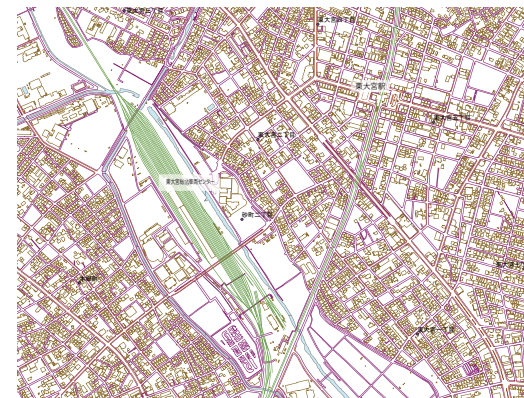
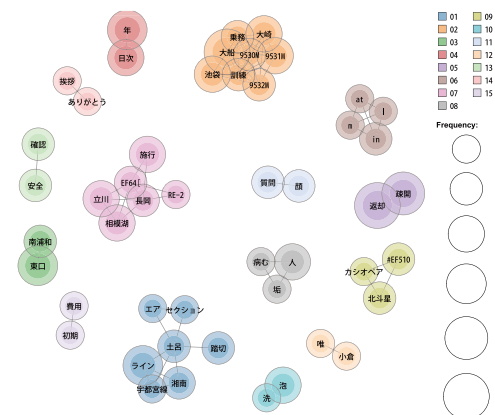
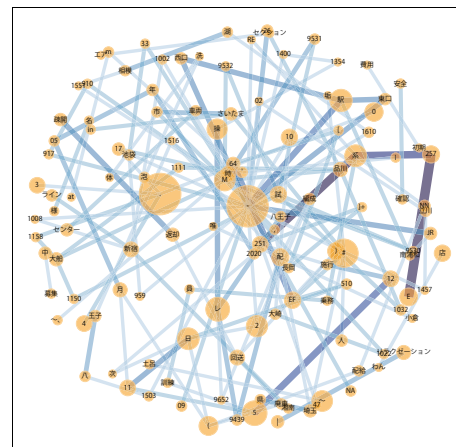


今回の検索対象として、'東大宮'を選定した。

図を作成したときは回送、疎開、返却や蓮田、立川、新潟等地名が多く表出した。このような図になった理由を探てみると、特急車両の配置換えに関してのツイートが多いようだ。



地図との情報の組み合わせからの読み取りがほしいため、今回は位置との関係性をもとに推測を行った。

1. python を利用し書き込み者情報を抜き出して csv とする
2. google マイマップに載せる
3. 文章を参照しながら、推測を行う。

この時は goo の町のロコミ情報（現在は閉鎖）の範囲を見沼区にある駅を最寄り駅として利用している人として検索をかけると 65 人が該当した。住所は町字単位であるため、重なる人がいた。google マイマップは csv 形式で住所等載せたい情報をアップロードをすると、その情報を書き込んでくれる。

今回は性別 年齢世帯最寄り駅住所住んでいる（いた）年の項目を載せた。

また、C S V の列ごとにグループ分けが行えるが今回はまだ使わなかった。

その中の一人である大学近くに住んでいた母親と考えられる人を対象にした。この人は

公園はあるが、夏暑い時期に涼しさを感じられる水場が無いや大きな病院が近くに無いおしゃれ着が無いといったことを書かれている。

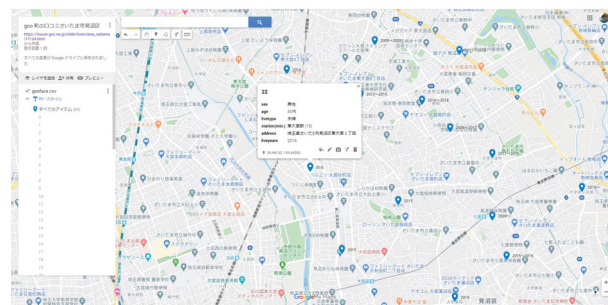
確かに徒歩 10 分圏内には公園があるが、水場があるわけでは無い

一方で、バスが近くにあることは満足点としてあげられている。このことから、この付近に住んでいる人は車があれば普段の買い物や病院等には困らないが、そうでないと少し不便である。また、緑地は歩けばあるが、水に親しむ場が無い。

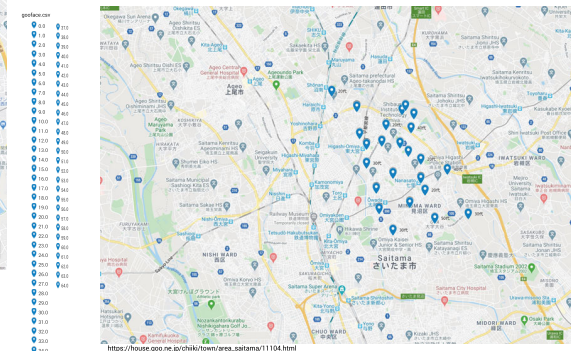


BeautifulSoup

	性別	年齢	世帯	最寄り駅	住所	住んでいる（いた）年
1	女性	30代	一人暮らし	大田区	大田区大森	2015～
2	男性	30代	一人暮らし	大田区	大田区大森	2015～
3	女性	30代	一人暮らし	大田区	大田区大森	2015～
4	女性	40代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
5	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
6	女性	30代	一人暮らし	大田区	大田区大森	2015～
7	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
8	女性	20代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
9	女性	20代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
10	女性	20代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
11	男性	20代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
12	男性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
13	女性	20代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
14	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
15	女性	20代	一人暮らし	大田区	大田区大森	2015～
16	男性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
17	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
18	男性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
19	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
20	男性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
21	男性	40代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
22	男性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
23	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
24	女性	40代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
25	男性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
26	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
27	男性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
28	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
29	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
30	女性	40代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
31	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
32	女性	40代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
33	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
34	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
35	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
36	女性	30代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
37	女性	40代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～
38	男性	20代	夫婦	大田区	大田区大森	2015～



goo 町のロコミさいたま見沼区



ソフトウェア開発者の共同開発サイトとして github がある。
編集の記録として、編集したファイルと内容を説明とともに逐一記録していくことによって、開発経緯を説明できる。そのほか、project として、何をやるべきか、現在取り組んでいること、終わったことのメモをカード形式で並べる機能や、いつまでに何を行うかの道筋を示す。milestone がある。

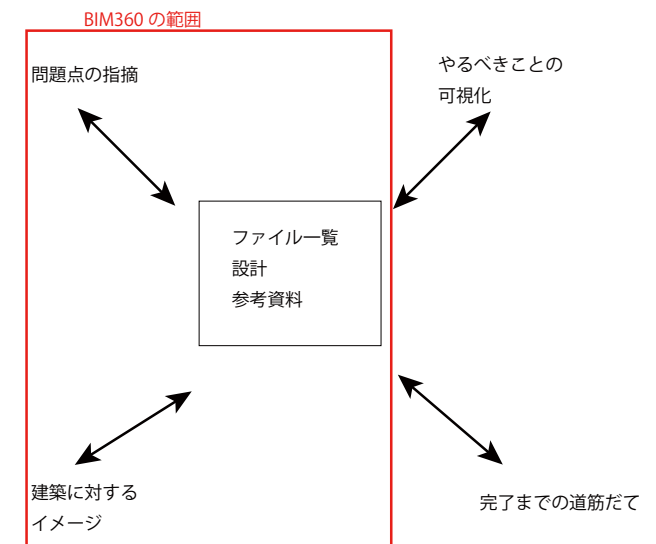
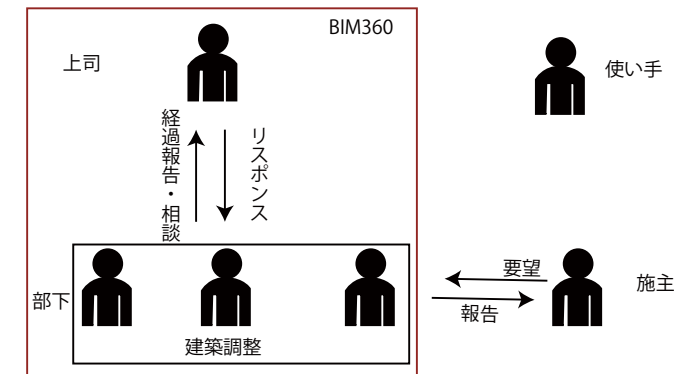
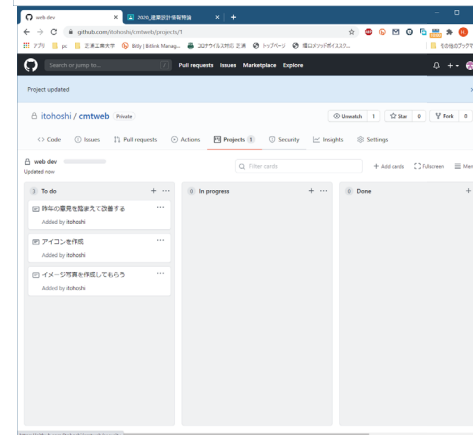
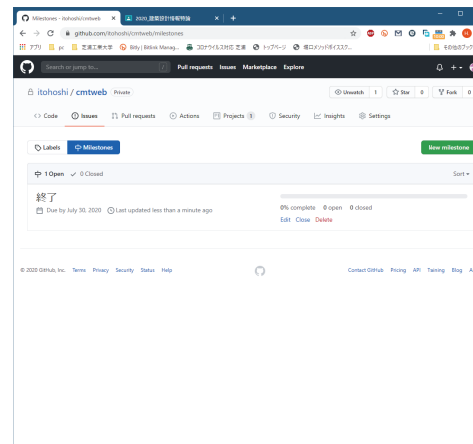
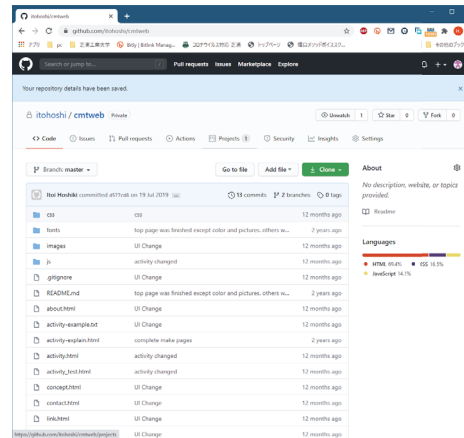
開発者外とのやりとりとして、issues がある。これは問題点を提示し、掲示板形式で、話し合うことができる。そのときその場で解決することもある。他にも外の人が、コードを書いて、直接変更をお願いできる。pull request というものもある。

これによって、チーム外との繋がりを持つことも可能である。細かいことは git というファイルのやりとりの形式を知らないとわからないことも多い。

建築設計から見ると、なんだか使えなさそうとなってしまうが、プラットフォームでみると設計に必要なことをそろえている。また、文のやりとりという観点で見れば、どこを変更したのかがすぐにわかるため、使いやすい。また、後から振り返ったときにこの時に何をしたのかがすぐにわかる。

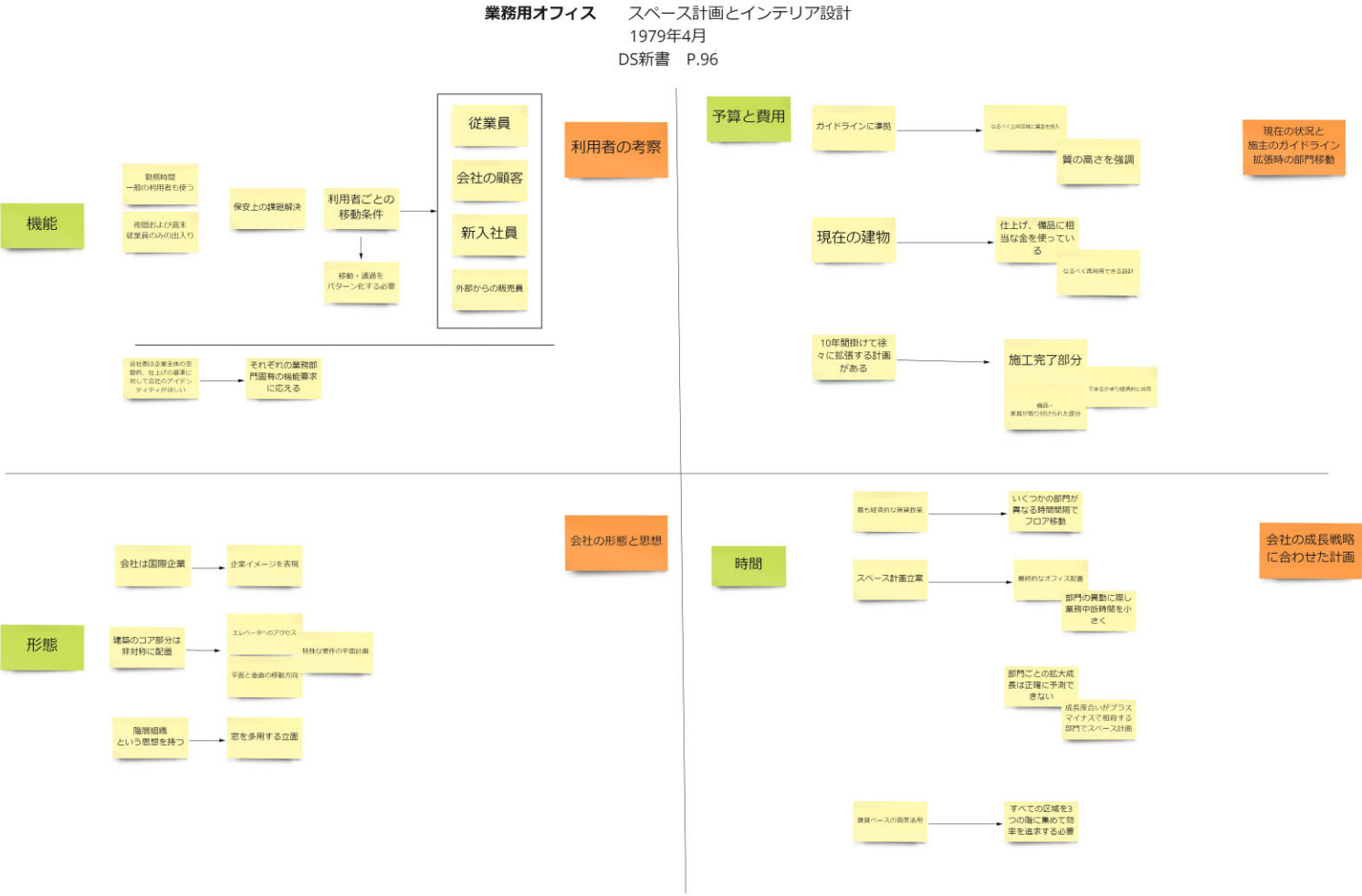
BIM360 では予定、タスク一覧があるかもしれないがわかりづらい。

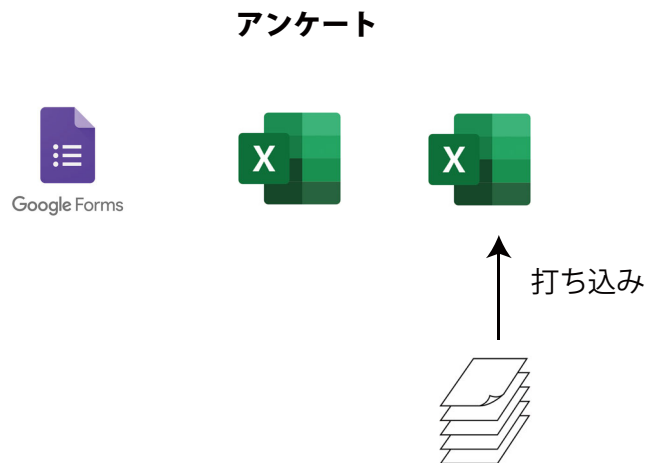
このような形で、建築設計のプラットフォームを作りたい。



設計者のデザインの前の設計に対する要項を作る際に考える物は何か確認した。建築計画の展開—プロブレム・シーキング (SD 選書) の p .30 の表から次のような図を作成した。機能と形態で、建築の様子がわかる。その形態は地域の歴史や人の滞在時間、用途の変化に沿うようなプログラムを決める。という考え方をした。

本の中での例を元に図を作成したのが右図である。





データベース
データの蓄積



呼び出し ↓ ↑ 書き込み

バックエンド言語
サーバーで実行



フロントエンド言語
ブラウザで実行



生成

結果の書き出し

アンケート結果等を
読み込み